

# 各地の活動報告

## 「認定子供園」で楽しく箏を弾く園児たち

(学) 小牧幼稚園園長 小林牧江



昭和 41 年伝統文化の継承を目的として、個人立幼稚園を 21 歳で設立しました。昭和 54 年より学校法人として、また平成 19 年に保育園を併設しました。平成 23 年のあの東日本大震災で耐震園舎を強く希望していた所、その年の 12 月 23 日に文科省から埼玉県学事課を通して連絡をいただき、条件として

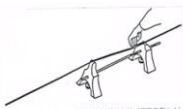
24 年度中に完成出来る園舎であること、耐震診断を受けること、園舎が 30 年以上経っていること、「認定子供園」にすることが条件は全て満たしていました。さて「認定子供園」の問題点は保育にける子供を朝の 7 時から夜 7 時まで預かるという点です。今まで当園では時間外保育で預かってきましたので、職員配置も簡単に出来ました。いよいよ工事日程が決まり、工事が始まりました。園児たちは大型クレーンを見てワクワクと楽しみにしていました。ところが敷地内に水が湧いた為基礎のやり直しがありました。ところが 25 年 3 月に完成致しました。建物の特徴は、外観は夢のあるヨーロッパ風で 2 階は天井を高く各部屋をオープンルーム、ランチルーム、厨房、3 か所に子供コーナー、図書コーナー、エレベーター、廊下を広くとり遊戯室、舞台、外廊下にプールなど、私の考えていた通りの園舎となりました。園児たちはハダシ教育の中で、箏でミッキーマウスマーチなど大好きな曲を 5 曲覚えて、「君が代」を歌って卒業して行きます。お誕生日会で箏とピアノ伴奏で、「ふるさと」と「富士山」を歌った時も「いい音だね! 私もやりたい」と言ってくれました。とてもかわいらしい園児たちに囲まれて、理想的な園舎の中でこれからも日本の伝統文化を大切に頑張って教えて行こうと思います。



## ♪いつでもどこでもだれでも楽しく弾ける琴をめざして 石森康雄



少しでも琴という楽器を身近に感じてもらいたい・・・これからの時代に琴の指導者として活動して行くために、私の長年考えていることを記すのでひとつの参考意見として見てほしい。私の主催する邦友会琴音楽教室の 48 年間の活動より実践例を紹介する。①使用する楽譜は五線譜(絃名譜では絃の場所はわかるが音はくみとれない)五線譜で弾くことによりどんなジャンルの曲でも弾ける。琴の上達が早い②中柱を使用 (中柱とは子供や年配の人でも押し手の強押しがかたんに正確な音で出せる。押し手の革命と言っても過言ではない。上級者にはかなり早い曲や押し手の多い曲も楽にこなせる。③数小節をトレモロで弾くのではなく全曲をトレモロで弾き通すことが出来る。合奏が豊かになる。④以上のことだけを見ても私の指導している琴音楽をイメージしてもらえるだろうか。大切なことは琴を教える指導者の意識が変化してほしいということである。そうすれば琴をもっと習いたいと思う人がたくさんいることを実感している。そのためのノウハウはいくらでも提供するつもりでいる。私を上手に利用してほしい。これからの時代を生き抜く琴音楽指導者に 出会いたい。(※文中琴という字を使っている。箏と琴は違うものに分類されるが一般的にわかりやすい字としてこと「琴」の字を使っている。)



中柱の図

## <神田囃子を組込んだ曲で 10 年邦楽指導>



日本橋葵神田囃子保存会会員  
箏曲七声学院長 仲林光子

私が東京都中央区の阪本小学校で邦楽の指導を始めて 10 年が経過しました。音楽の小野教諭からの依頼がきっかけです。地域で発展させたい神田囃子を組み込んだ曲を作って欲しいとの事、私は彼女の熱意に応え曲作りを開始しました。江戸讃歌、和の国讃えて、他 6 曲を作曲しました。4 年生から 6 年生まで毎年 4 月から教えて夏に TBS こども音楽コンクールに出場させる。この繰り返しが続いています。昨年は創立 140 周年記念式典で和の国讃えて、を元気に演奏してくれました。羽ばたく子供達へのプレゼントは私に沢山の夢を返してくれています。



## 第 2 回全国邦楽合奏フェスティバル

2011 年に全国の邦楽家有志で立ち上げた NPO 法人「全国邦楽合奏協会」(全奏協)のメインイベントとして、昨年、第 1 回のフェスティバルを徳島県阿南市で国民文化祭の事業の 1 つとして開催いたしました。第 2 回は全奏協の主催事業として東京三鷹市公会堂で 2 月 1 日、2 日に開催いたします。おかげさまで、邦楽指導者ネットワーク 21 様をはじめとして全国より演奏グループ 35 団体、講習会を含め延べ 460 名を超える方が演奏に参加するフェスティバルとなりました。また、併設のコンサートとして作曲家グループ邦楽<2010>の高校生から集める曲を集めた本年度作品の演奏会、「びかむ」による合奏技術のワークショップ、苔米地英一氏による 2 つの講習会をはじめとして、楽器メカ/楽器商による楽器製作実演やクラフト、未公開を含む楽譜、CD 展示や販売。演奏者、指導者のための大学機関によるワークショップ等 2 日間に渡って様々なイベントを開催いたします。演奏や指導をされる方にとって新しい発見や出会いの場として、是非、皆様のご来場をお待ちしています。 実行委員長 立花茂生

## 平成 26 年 2 月 2 日「全国邦楽合奏フェスティバル」に参加します!



NPO 全奏協の事前説明会に出席しました。実行委員や参加団体の方々顔と顔を合わせ、自己紹介をし、会場の様子やスケジュール等についてはプロジェクトで映し出された資料を見ながら説明を受けられたので、当日の舞台演奏を具体的にイメージすることができました。私達狛高箏曲部 OG と現役生は狛江支部として牧野由多可作曲「春の詩集」を演奏致します。練習を重ね本番で良い演奏ができるよう頑張りたいです。

狛江支部 中村里子・菅沼 恵

## <福島県の高齢者も頑張っています>



須賀川市の各公民館では 60 歳以上の方々の教室を開催しています。10 回コースがほとんどで(常に新たな発見を求めて)そんな言葉が目に入ってきます。その教室の開講式や閉講式によく箏の演奏を頼まれます。また、郡山市でも施設に入居している 70 歳以上の方々も元気で、箏を聞きに集まります。何かを学び、何かを手がけようとする前向きさが伝わります。年齢に関係なくチャレンジする姿勢には私たちが力を受けています。



須賀川支部桐音会代表 後藤礼子